

奨学会名	<b>公益財団法人 G-7奨学財団</b>
学内選考	なし
課程・学年	指定なし <u>※ただし、下記の奨学金支給期間を通して在学していることが応募条件となります。</u>
学部・研究科	指定なし
支給月額	給付 月額最大10万円 ※給付金額は財団の審査により決定します。左記は上限金額です。
支給期間	2026年4月~2027年3月
注意事項	本奨学金は例年、倍率が極めて高くなっています。
出願条件	<p>日本国籍を有する者</p> <p>学業優秀、品行方正で、学修意欲があり、将来社会的に有益な活動を 目指す者であって、学資の援助をすることが必要であると認められること。</p> <p>奨学金支給期間中を通して在学していること（2026年秋卒業予定の方はご応募いただけません）。</p> <p><b>【学力基準】</b></p> <p>学部新1年生は高校3年間評定値が4.0以上であること。</p> <p>学部新2年生以上と大学院学生は「学力基準確認シート」をご確認ください。</p> <p>なお、成績証明書にGPAが記載されている場合、GPA3.1以上 <u>かつ</u> 学力基準確認シートで 学力基準を満たすことを出願条件とします。</p> <p><b>【家計基準】</b></p> <p>詳細は財団HPをご確認ください。</p> <p><a href="#">奨学金助成(大学生、大学院生)   助成事業について   公益財団法人 G-7奨学財団</a></p> <p>※単独（一人）世帯とは所得税法上独立し、生計維持者（父母等）からの援助がない者とします。</p> <p>生計維持者の物的・金銭的支援を基に現住居で生活している場合、授業料の納入を生計維持者が 行っている場合等も金銭的援助に含まれます。</p>
奨学生の義務	成績証明書/在学証明書/生活状況報告書の提出・奨学生交流会への参加・異動時（休学等）の報告
指導教員の推薦書	<p><b>【重要】2026年4月時点での学年・進学状況によって対応が大きく異なりますので、以下をよくご確認ください。</b></p> <p>① 在学生(2025年秋入学者含む)、及び2026年4月に<u>東京大学内で</u>学部から修士1年又は修士から博士1年に進学する方 ⇒本学推薦様式をご準備しますので、<u>«在学生用»書式は使用/作成せず</u>、その他の必要書類をご提出ください。</p> <p>② 2026年4月に<u>高校又は他大学から</u>本学学部・修士・博士課程の1年に入学・進学又は本学に編入する方 ⇒<u>«新入生・編入生用»</u>の書式を使用してください。</p> <p>③ 2026年4月に本学に入学し、かつ、直前まで就労/海外大学に在籍していた等、その他事情がある方 ⇒以前所属していた大学（前課程）における指導教員の推薦が得られる場合は、新入生の場合と同様に <u>«新入生・編入生»</u>の書式を使用してください。以前の所属大学で推薦が得られない場合は個別に担当 課までお問い合わせください。</p>
【記入上の注意】	<p>«新入生・編入生用»様式を使用する方は、「奨学金申請者情報」、「推薦情報」および 「推薦校記入欄」は2026年4月以前の自身の指導教員及び所属学校長に記載を依頼してください。</p> <p>「所属大学追認欄」の【日付/学長（学部長）名・印】は本学で記入しますので空欄としてください。</p>
他奨学会との重複	可(DC,SPRING GX,WINGSすべて可) ※ただし併給状況によって支給金額が調整されます。
出願書類について	<p>「学力基準シート」と「出願書類について」をご確認ください。</p> <p><b>提出された書類の不備連絡等は大学からは一切行いませんので、提出前に内容をよくご確認ください。</b></p> <p>提出先は所属や学年にかかわらず本部奨学厚生課民間奨学金担当です。</p>
申込締切	4月3日(金)17時
問合せ先	本部奨学厚生課民間奨学金担当(学籍番号と氏名を明記の上メールでお問合せください。) <a href="mailto:syougaku.adm@g.s.mail.u-tokyo.ac.jp">syougaku.adm@g.s.mail.u-tokyo.ac.jp</a>